

SABO NEWS LETTER

第 149 号【発行日】令和 3(2021)年 10 月 15 日(金)【発行】(一社)全国治水砂防協会

目 次

1. 目 次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 国土交通省砂防部長よりご挨拶・・・・・・・・ 2
3. (一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶・・・・・・・・ 3
4. 国土交通省提供資料・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省砂防部長よりご挨拶

会員のみなさまにおかれましては、各地の土砂災害防止対策の推進に多大なる、ご理解・ご協力をいただいております。深く感謝申し上げます。また、7月、8月を中心に今年も全国各地で土砂災害が多発しており、被害に遭われた地域の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

令和3年度も下半期に入りました。9月末時点の全国の土砂災害発生件数は934件、土砂災害により32名の方がお亡くなりになり、今なお1名の方が行方不明という状況です。今年度の土砂災害報告からは、事前防災で整備された砂防堰堤が土石流や流木を捕捉し、災害の防止・軽減に役立った事例が多数見られます。このうち、長野県辰野町伊那富では「防災・減災、国土強靱化3か年緊急対策」予算を活用して施設整備が進められ、完成直後の砂防堰堤が土石流を捕捉し、下流人家や国道を保全しました。また、広島市安佐南区大町では、平成26年に土石流を捕捉した施設がその後の除石により空き容量が確保され、今年度の豪雨による流出土砂を捕捉し、下流被害を防止した事例が報告されています。

さらに長野県茅野市下馬沢川では日頃の訓練が実際の避難行動に結びついた事例が報告されています。突然の豪雨で土砂災害警戒情報、避難指示が短時間で発出されましたが、住民のみなさんは適切に避難行動をとられ、人的被害が回避されたケースです。

今秋の台風期には、9月末に日本列島に非常に強い勢力で近づいた台風16号では土砂災害への警戒で緊張感が走りましたが、幸いにして大きな災害は発生しておりません。気候変動の影響もあり油断のない季節がもうしばらく続きます。国や都道府県と連携強化を図り、どこが危ないかを土砂災害警戒区域で知り、いつ危ないかを土砂災害警戒情報で知る、そして、市町村からの適切な避難指示で早めの住民のみなさんの避難行動を呼びかけ、人的被害を回避する取り組みを引き続きお願い申し上げます。

土砂災害対策には言うまでもなくソフト・ハード両面からの事前防災対策が重要です。現在進めている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」をはじめとして、保全効果の大きい砂防関係施設を1基でも多く1年でも早く完成させることで、確実に「いのち」と「くらし」を守っていきたく思います。また、ソフト対策に関しても身の回りの土砂災害リスクを住民のみなさんに知っていただき早めの避難行動につなげていただく取り組みを進めていきたく思います。

令和4年度の予算編成に向けての作業が佳境に入っております。11月18日には砂防会館において、「全国治水砂防促進大会」が開催されます。当日は、最近の土砂災害対応から得られた教訓が報告される等、参加者で今後の土砂災害対策を考える貴重な機会としていただけると考えます。ご参加いただける会員のみなさまにもお時間を頂戴できましたら幸いです。末筆ながら、土砂災害対策へのご意見を様々な機会を通じて関係方面にお届けいただくなど、会員のみなさまのお力添えをお願い申し上げます。

令和3年10月 国土交通省砂防部長 三上 幸三

(一社) 全国治水砂防協会理事長 挨拶

会員の皆様へ

10月7日、東京23区で震度5強の地震が発生いたしました。22時41分と、夜の遅い時間帯の地震でしたので、帰宅困難者が発生したり、エレベーター内に閉じ込められた方も居られたりと、大都市の持つ脆弱性を改めて認識させることとなりました。本当に天変地異は突然にやってきます。10年前の東日本大震災を思い出し、国土強靱化の一層の推進と日ごろの備えが大切であることを改めて実感いたしました。

年々激しくなる豪雨に加え、地震大国でもあるわが国では、公共事業の中でもとりわけ防災事業が大きな意味を持ちます。防災のための施策はいのちと生活を守る基本であり、その対策を着実に推進していかねばなりません。国政の場では大きな変化がありましたが、国土強靱化を加速させていく必要性は少しも変わっておりません。来年度予算編成においてもしっかりと必要な砂防関係事業の予算を確保していく必要があります。特に、新政権になっての初めての予算編成であり、より強力に地域の声を届けて、予算編成に反映してもらわねばなりません。

そこで、当協会といたしまして、本年も「全国治水砂防促進大会」を11月18日に砂防会館にて実施いたします。東京都を始めとして、全国の新型コロナ感染者数は減少傾向にありますが、まだまだ気を許す状況にはありません。感染防止に万全を期しての開催とさせていただきますので、どうか万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

今年は、コロナ禍で協会支部総会や、地区の支部長会議等の大半が書面開催となり、地域の声を直接お聞きすることが困難でした。そこで、会員市町村にアンケート調査を実施させていただきました。お忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。この紙面を借りまして、心から御礼申し上げます。このアンケートの集計内容や地域からの要望・意見等を踏まえ、全国治水砂防促進大会の提言をまとめ、中央への要望活動をおこなっていくことといたしております。

また、大会では国交省三上砂防部長の講演の他、近年、豪雨災害が発生した岐阜県郡上市の日置敏明市長様に意見発表をお願いいたしております。大会への皆様のお越しを切にお待ちいたしております。

時節柄、どうかご自愛くださいますように。

令和3年10月15日

一般社団法人 全国治水砂防協会
理事長 大野宏之

令和3年 全国の土砂災害発生状況（9月30日時点）

土砂災害発生件数

934件

- 土石流等：161件
- 地すべり：70件
- がけ崩れ：703件

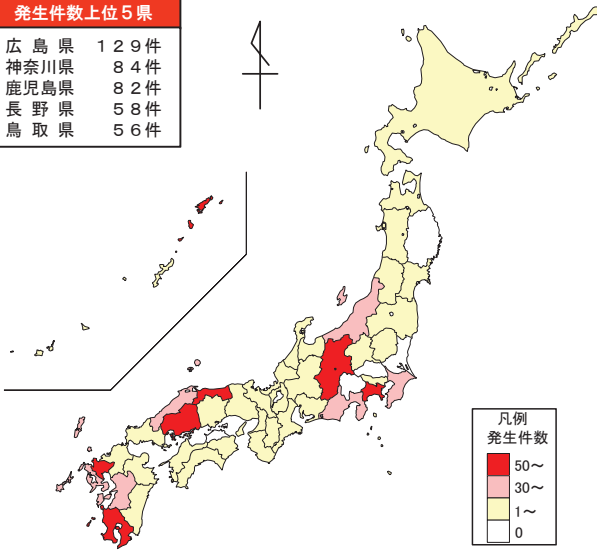
【被害状況】

人的被害：死者	32名
行方不明者	1名
負傷者	13名
家屋被害：全壊	70戸
半壊	20戸
一部損壊	152戸



発生件数上位5県

広島県	129件
神奈川県	84件
鹿児島県	82件
長野県	58件
鳥取県	56件



※これは速報値であり、今後数値等が
変わる可能性があります。



令和3年7月以降の砂防施設の効果事例

令和3年9月30日現在 速報版

令和3年7月以降、
全国から26件の効果事例報告があった



① しもきたぐんかざまうらむらしもふる しんゆかわ
青森県下北郡風間浦村下風呂（新湯川）
災害発生日：令和3年8月10日
保全対象（当該溪流の土砂災害警戒区域内）：
人家戸数21戸（下風呂温泉街）、国道279号

新湯川3号砂防堰堤による流木捕捉状況
写真：アジア航測(株)提供

新湯川4号砂防堰堤による流木捕捉状況

② おかやしかわぎしひがし ほんざわかわ
長野県岡谷市川岸東（本沢川）
災害発生日：令和3年8月15日
保全対象（当該溪流の土砂災害警戒区域内）：
人家戸数57戸、中央自動車道、JR中央本線

土石流発生後（R3.8.17撮影）

③ <3か年緊急対策による効果事例>
かみいなぐん たつのみち いなとみ にれさわ
長野県上伊那郡辰野町伊那富（楡沢）
災害発生日：令和3年8月15日（推定）
保全対象（当該溪流の土砂災害警戒区域内）：
人家戸数187戸、国道153号

土石流発生後（R3.8.30撮影）

④ いずもしくにどみちようなむら たんぼりがわ
島根県出雲市国富町中村（丹堀川）
災害発生日：令和3年7月7日
保全対象（当該溪流の土砂災害警戒区域内）：
人家戸数35戸

土石流発生後（R3.7.15撮影）

⑤ ひろしまし あさみななく あいた やすかわしせん
広島県広島市安佐南区相田7丁目（安川支川）
災害発生日：令和3年8月14日
保全対象（当該溪流の土砂災害警戒区域内）：
人家戸数653戸

土石流発生後（R3.8.15撮影）

⑥ きんりゆうちよう きんりゆうがわ
佐賀県佐賀市金立町（金立川）
災害発生日：令和3年8月13日（推定）
保全対象（当該溪流の土砂災害警戒区域内）：
人家戸数23戸、長崎自動車道

土石流発生後（R3.8.15撮影）

【3ヵ年緊急対策による整備・効果事例】長野県上伊那郡辰野町伊那富

災害発生日：令和3年8月15日(推定)
 降雨状況：連続雨量388mm(8月12日22時～15日11時)
 時間最大雨量39.5mm(8月15日3時～4時)
 ※辰野雨量観測所
 発生箇所：長野県上伊那郡辰野町伊那富
 状況：8月11日からの前線による大雨に伴い土石流が発生したが、砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉。下流人家等への被害を未然に防止した。

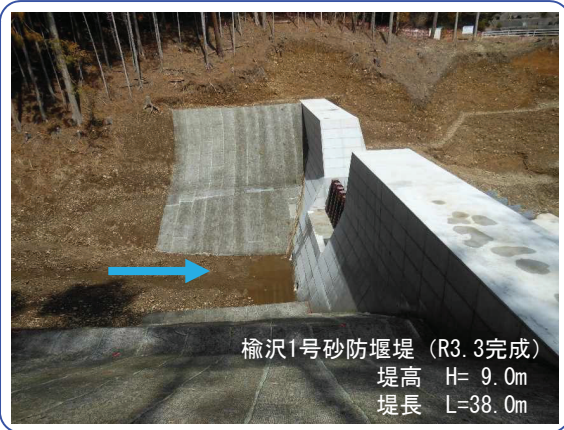
位置図



全景



土石流発生前 (R3.3.29撮影)



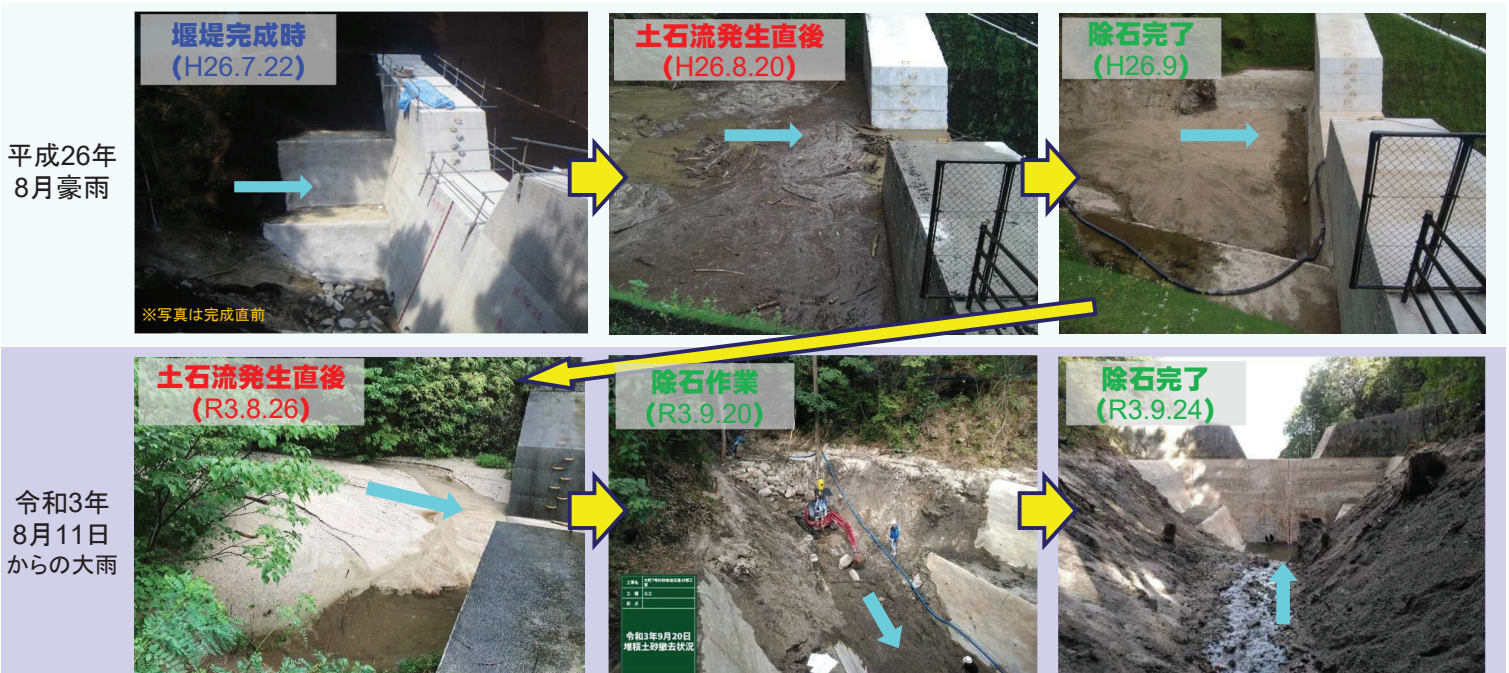
土石流発生後 (R3.8.30撮影)



除石した砂防堰堤が2度目の土石流を捕捉

大町7号砂防堰堤 (広島県広島市安佐南区)

- 平成26年8月豪雨により土石流が発生したが、大町7号砂防堰堤が土砂を捕捉し、下流人家への被害を未然に防止。その後、翌月には除石を完了した。
- 令和3年8月11日からの大雨において2度目の土石流が発生したが、除石によってポケットを確保していたため、土石流を再度捕捉した。その後、翌月には除石を完了した。(9/24に完了済)



平成26年
8月豪雨

令和3年
8月11日
からの大雨

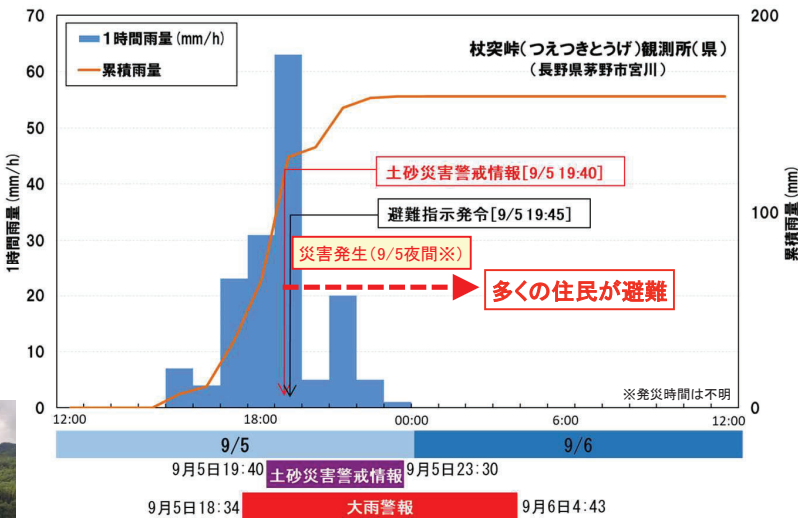
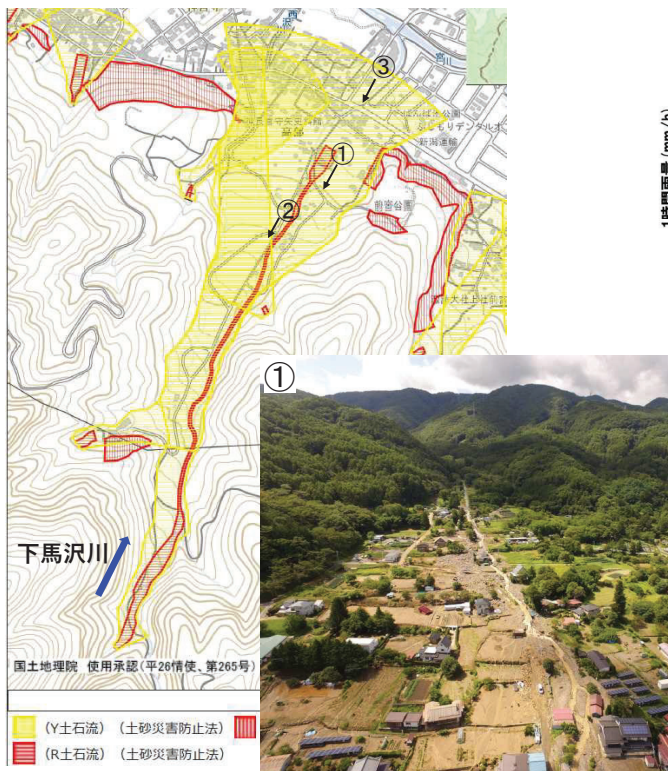
令和3年9月20日
増積土砂撤去状況

避難により難を逃れた事例(長野県茅野市)

R3年9月事例
【速報】

○長野県茅野市において、複数の民家が巻き込まれる土石流災害が発生。
○地域では例年、避難訓練を実施し、災害への意識を高めていたことに加え、避難指示発令後、防災無線により避難を呼び掛けたり、市消防団員等が住民に直接声を掛けて回り、住民の多くが避難して人的被害はなかった。

【土石流災害警戒区域と写真位置】



適切な避難指示の発令により人的被害を免れた効果事例(広島県広島市)

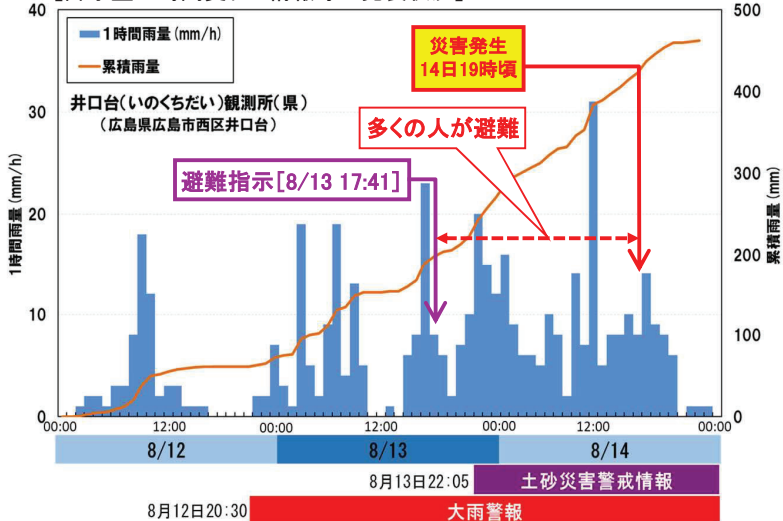
令和3年8月の大雨

○広島市では、西区や安佐南区など多数の土石流災害が発生したものの、適切な避難指示の発令により、多くの住民が事前に避難し、人的被害が発生しなかった。

【事前避難の事例】(広島市西区田方地区)
にしくたかた
避難所へ事前に避難していた人が多く、人的被害はなかった。



【降水量の時間変化と情報等の発表状況】



- ### 【広島市における避難指示の発令状況】
- 13日17:41広島市西区避難指示※発令
 - 13日22:05土石流災害警戒情報発表
 - 発災前に多くの人が避難
 - 14日19時頃: 災害発生

※災対法、土石流災害防止法が改正されたことにより、**避難勧告・避難指示は避難指示に一体化**

【人的被害を免れた事例】

(広島市安佐南区伴中央地区)
事前に避難しており、人的被害はなかった。



(広島市安佐南区山本地区)
自宅2階へ垂直避難を行ったことにより、人的被害を免れた。

